

# 高松学習館運営協議会（令和6年12月）会議録概要

開催日時 令和6年12月12日（木曜日）午後6時30分～8時

開催場所 高松学習館 第1教室

出席者 [委員] 丸山あかね（立川市社会福祉協議会）

梅田茂之（自治会連合会栄町支部）

川合博（立川市高松児童館）

難波敦子（立川市生涯学習市民リーダーの会）

小原雅俊（たちかわ市民交流大学推進委員会）

栗原政子（学習館利用団体）

結城まり子（学習館利用団体）

戸井田宗二郎（公募市民）

欠席 3名

[事務局] 庄司康洋（生涯学習推進センター長）、榛澤尚武（高松学習館係長）、富田瑞代（会計年度職員）

定数の過半数の出席により会議成立とする。

## 議事

1. 会長あいさつ 皆様お疲れ様です。寒くなっています。会議のメインストリームを意識しながら話し合いを進めていきたいと思う。今日は学芸大の学生さんがオンライン参加、庄司センター長もお出でいただいている。

### 2. 報告事項

- ・事務局より下記について報告があった。
- ・たかまつり音楽会（11/16 実施）について

第1部子ども向けは親子で32人、第2部大人向けは43人の参加があった。アンケート結果は好評だった。今回は来場者も一緒に歌って参加するコーナーがあり楽しんでいただけた。出演者の方で楽しい企画をしていただいた。当日は委員さんに司会、受付の協力をしていただいた。

A委員：第2部の大人向けの参加者は50代以上の年代の方になっている。土曜日だが、大人向けの部には30代～40代のシングルの方達の参加が多く高齢者が多い状況。何か課題があるようだ。

B委員：毎年楽しみにしているという感想がある。

A委員：感動的だったのでほんとうに嬉しい気がした。出演者による企画が毎年レベルアップしている。もっとPRできるように、例えば、参加者の感想をちらしに載せるなど工夫が必要だ。

B委員：第1部の子ども達はゴザに座っていたが、薄いので冷たくて気の毒に思った。家族で一緒に座るのでマットを敷いてほしいと事務局に伝えた。

事務局：健康会館が移転前に様々な備品を各課に譲り渡している。厚めのヨガマットを譲り受けたところで、さっそく12/7クリスマス映画会で使用して子ども達、家族で座った方達も座り心地が良さそうだった。

- つくって、うごいて、あそぼう！たかまつり（11/23 実施）について  
オンラインで参加の学生よりアンケート集計結果とふりかえりについて  
報告があった。

事務局：本日の会議資料として学生さんがまとめてくれたアンケート結果とふりかえりを配布している。学生さんに報告をお願いしたい。

学生：まずはアンケート結果について資料をご覧いただきながら報告したい。外の受付を通った人数としては、小学生以下の子ども：27人、中学生以上及び大人：18人だった。各企画の参加人数は資料のとおり。アンケート結果としては子ども用の回答者は28人で保育園・幼稚園生が半数以上、小学生低学年と高学年、中学生も参加してくれた。初めて学習館に来た子どもは7人いた。企画内容は外の縁日に参加してくれた人数が一番多かった。楽しかったと回答した子どもが多数だった。自由感想も楽しかった、また行きたいという声をいただいた。大人用のアンケートの回答数は23人で性別は女性が多かった。たかまつりを知ったのは学習館のちらしを見たという回答が多く、70代の方だったので盆踊りに来てくれた方々と思われる。学校で配布されたちらしや自治連の掲示板のちらしを見たという回答もあった。満足度については、大半が満足という回答だったが、不満足の回答が少数あった。感想については楽しかった、また来年も参加したいという回答をいただいた。

C委員：午前はポップコーンづくり、午後は盆踊りを担当した。

ちらしを見ると、対象が小学生低学年の企画がメインなので立川音頭を踊ることができる年代ではなかった。小学校高学年以上が来場できる企画があると良かったと思う。盆踊りというと、季節として夏の行事で浴衣を着るイメージがある。事前にちらしを配布して寿教室の仲間が応援に来てくれて盛り上げてくれた。小さいお子さんを連れた母親や一般の方達も参加してくれた。踊りの伝承という点からは来場者の年代を考える方がいいと感じた。20人以上参加してくださり大きな輪になって楽しんでもらえたので良い企画だった。ふりかえりとして、実施の時期と対象者について考えることが必要と思う。

D委員：アンケートの感想で満足していない回答があったが、理由はわかるのか。時間が短いという感想はあったが、同じ回答者か。

学生：不満足という回答の方の自由記述についてグループ内で確認したい。

E委員：思ったより小さなお子さん多かったという印象があるが、みんな喜んで参加していたので良かったと思う。

A委員：当日の学生さん達のふりかえりであったが、お子さん以上にお父さん、お母さんや寿教室の方達が夢中になっていた感じがあった。先ほど話にも出たが、世代を超えたイベントになるとより広がりがあると思う。学生の皆さんには今回限りかもしれないが、次の糧にしていただきたい。

F委員：企画の段階ですごく丁寧に対象を決めて工作の準備もしたが、

先ず入ってきたのが中学生だった。元々は講師の指導で参加者が一斉に始める教室形式の予定だったが、なかなか席が埋まらず、小グループでその都度スタートするという感じだった。ポップコーンを渡す担当をしていたが、子育て世代の方達の土日の居場所をこの地域では求められているのかなと思った。小学生は土日に習い事などで学習館に来られない事情があるのかもしれない。想定していた学年と人数が来なかつた。若い世代の父母が喜んで工作やカードづくりをしていた。親子が楽しく過ごせた時間だつたという印象を受けた。

B委員：最初に子どもの姿がなくてかなり心配した。紙鉄砲を作ったりして用意していたら来られたのが高齢の方で大人でもいいかと聞かれたのでどうぞと入っていただいた。子どもに限らず、誰でもウエルカムの状態を作つていいのかなと思った。大人も楽しく参加されていたので良かった。

D委員：ポップコーンをいただいたが、種が残っていて硬かった。今後は学生さん達と意見交流をしながらどういう企画を実施するか決めて準備していくのがいいのではないかと思った。

学生：ふりかえりの方も資料配布している。演劇ワークショップは事前申込みがなく、当日の来場者に声がけをして参加してもらった。未就学児の参加が多かったのでプログラムの内容を急遽変更して対応して進めた。

盆踊りは立川市の伝統文化を子どもが体験できたらいいと思って企画したが、幅広い世代が交流できて良かった。読み聞かせは図書館職員の方で上手に運営してくださり、参加者も程よい人数だった。子ども達も静かにお話を聞いていたし、手遊びも楽しんでいた。課題点として、当日になって時間変更があったので事前に時間が重ならないように企画すべきだった。工作については、一斉授業形式で進める予定だったのが来てくれたタイミングに合わせた個々に対応する形になった。結果として多くの方が参加してくれて良かったが、講師と担当の学生の2人で手がいっぱいになってしまった。最初から一斉形式でなく自由形式で進める方が良かったのかなと感じた。その場合はもう少し簡単な工作の方がいいと思う。縁日は受付を兼ねていたが、参加人数のカウントとパンフレットを渡してちょうど良い呼び込みになった。縁日で遊ぶ時間を考えなくて工作の時間に間に合わなくなってしまった。工作の時間をずらす等した方がよかつた。自由工作の方は最初あまり人がいなかつたが、順に人が入って賑わつてよかつたと思う。

A委員：来年は今回の経験とふりかえりを活かしていっていただきたいと思う。

事務局：今回は事前申込が少なくて心配していた。事前申込が必要な企画と当日参加可能な企画がわかりづらかったのかなというのが事務局側の反省点だった。外の縁日の所に自転車で来た親子がいたが、そもそも事前に申し込む必要があることがわかつていなかつた。もっとわかりやすく周知した方がよかつたということを事務局の中で話した。

- ・生涯学習関係職員研修会（12/6 実施）について

事務局：学芸大のコミュニティ学習支援コーディネーター養成講座の参加者と立川市の生涯学習推進審議会委員、市民推進委員、市民リーダー地域学習館運営協議会委員、立川市生涯学習関係職員で40人位の参加だった。ラウンドテーブルという形で各グループに分かれて各自の活動の内容を紹介し合いながら自由に話し合う内容だった。

D委員：内容についてどうだったか教えてほしい。

E委員：イメージしたものと少し違っていて、先生の講義はなくてグループディスカッションで、参加者が自分の活動について話してそれをお互いに聞き合う雑談のような感じだった。

A委員：次第の中にあるように、最初に倉持先生から主旨の説明があり、傾聴力の研修ということだった。いろんな方のお話をしっかりと聞き取る力を養うという研修だった。

B委員：以前に参加したが、横のつながりがたくさんできて他市の方々と知り合いになれて素晴らしかった。

事務局：CLCを受講されているメンバーが小平市など他市で生涯学習に関わっている方達だった。参加したグループには中野区の市民の方がいて活動内容も世代も異なっていていろんな方の意見を聞くいい機会だった。

D委員：女性総合センターでは利用者懇談会がありいろいろな人の意見が聞けるそうだ。利用者との懇談会があればいいと思う。

A委員：高松学習館で5月～6月に文化祭を実施しており、参加サークルが集まる準備会がある。演奏会と作品展の参加サークルでいろいろと話し合って決めている。学習館の利用者懇談会を兼ねていると聞いている。

D委員：自分もサークルで利用しているが、それについては知らない。次回はそういうことを周知していただいて他の利用サークルの人達からも意見を聞いてほしい。

A委員：作品展参加サークルでないとお知らせは行かない。展示する成果物があれば出展できる。

D委員：出展するしないに関わらず、利用団体全体の懇談会があるといいと思う。今後建て替えがあるなら意見を聞いてより良い施設となっていくのではないかと思う。

A委員：砂川学習館は建て替え中なので利用サークルは今いろいろな学習館で活動している。

D委員：利用サークルから要望を出してコミュニティの作り方の意見交換により内容が変わったと聞いた。

A委員：例えば、砂川で出展していたサークルが今高松で活動しているというケースがある。高松学習館では作品展準備会が利用者懇談会になっている状況。

D委員：利用サークル全体の懇談会について提案したい。

- ・ その他

生涯学習推進センター長より資料配布があり、健康会館の外壁調査の結果（老朽化によるタイルの落下の危険性があること）について報告と説明があった。跡施設として位置づけ、外壁調査の結果報告、当面の対策および今後の方向性と利用者への影響について説明があった。

A委員：工法によって今後の影響が決まつてくるということか。

センター長：そのようになる。いくつかの工法があり期間や費用も異なつてくるため検討中。安全をしっかりと守ることを第一としている。詳細が決まれば報告したい。現在、スロープが使用できない状況のため、仮設のスロープの出し入れを職員で対応している。夜間はスロープをしまつてるので補助が必要な来館者向けに学習館の電話番号を入れた張り紙の立て看板を玄関に置いている。利用者や近隣にご迷惑がかかると思われる所以工期が決まつたら説明会を実施したい。

D委員：仮設のスロープはいつから用意するのか。手すりはあるのか。

センター長：夜間以外は設置している。夜は盜難防止で撤去している。

事務局：選挙の投票所で使用するスロープを急遽お借りしている。朝の開館前に設置し夕方5時頃に撤去している。夜間は盜難防止のため撤去している。手すりはついていない。

D委員：夕方暗くなるので足元が危なくないか心配。利用者が使用しにくくなるのではないか。

C委員：外壁工事が3月議会で決定されればまたご報告いただけるとのお話だった。

事務局：大家である健康会館の方で現在いろいろと進めている。スロープの上に屋根を付けるような話が出ている。

D委員：いつ落下してくるかわからない状況なのか。リスクについてはしっかりと報告してほしい。

D委員：建て替えの時期は決まつているのか。

センター長：まだはっきり決まつてない。建て替えの構想については市としての全体の計画なのでこの機能をどこに持っていくか等も含め今後検討していくことになる。決まり次第、報告させていただきたい。

### 3. 協議事項

(1)前回議事録（案）について 承認された。

(2)高松学習館の取り組みについて

- ・ 地域活性化事業について

事務局より今後実施する地域活性化事業と催物事業について説明と報告があった。1/16 宅トレは講師と一緒にリハーサルを実施した。3/1 防災講座についてオンライン併用でと意見をいただいたが、講師からは今回はハザードマップを見ながら作業するという対面の形で実施したいとのお話だった。防災アプリ等の紹介もしていただく。

1/25 新春たかまつ落語会で当日応援可能な委員を確認した。

難波副会長（司会）、栗原委員（受付）、結城委員（受付）、午後1時集合でお

願いすることになった。

事務局：令和7年度高松学習館文化祭作品展、演奏会の日程は参加サークルの昨年度のふりかえりの場で決定されている。公開教室については、先ほどのセンター長の話にあった外壁の工事の関係で、例年6月実施を前倒しで5月に実施したい。参加サークルにさっそく配布を始めていく。

### (3) その他

- ・ 次回の会議開催日程について：1月9日（木）午後6時30分～第1教室
- ・ 地域学習館運営協議会交流会開催：令和7年2月15日（土）午後1時30分～会場：市役所3階302会議室  
交流会への出欠については次回1月会議で確認することになった。
- ・ 立川市地域学校協働本部紹介リーフレットの発行について
- ・ きらり・たちかわ たちかわ市民交流大学 活動の記録 冊子
- ・ 学校たより 第2中学校区の小中学校のおたよりを配布しているのでお読みいただきたい。

## 4. 地域課題共有

- ・ C委員：高松町で防犯パトロールが行われている。
- ・ A委員：栄町でも防犯パトロールを実施している。警察の生活安全課職員が防犯講習会に来てくれて闇バイトの事件についてどのように対策するかという話があった。パトロールが一番効果的かもしれない。防犯講習会には30人位参加があり、青パト講習会も20人位参加された。
- ・ D委員：先日リスルホールで目薬の悪徳業者に事例に遭遇した。
- ・ F委員：社会福祉協議会よりボランティア、地域活動のイベント案内ちらし「てとて」、「ご近所のわくわくを見つけよう」を配布させていただいた。
- ・ G委員：高松児童館では1/6午後2時～4時、お正月あそび（お手玉、けん玉、駒回し）を実施する。

以上